

厚別区社保協 ニュース

発行日：2015年1月22日（木）

厚別区社保協 発行（NO. 1）

TEL:011-896-1165 FAX:011-894-4404

E-mail: atubetu-syahokyo@karipu.jp

厚別区社保協結成！！

～安心して住み続けられる厚別区をめざして～

昨年秋より、準備を進めてきた厚別区社保協が、1月20日（水）午後、かりふ・あつべつにおいて11団体31名の参加で盛大に開催されました。厚別区社保協は、札幌市が分区により現在の10区になってからは初めての地区社保協であり、市内の地区社保協では7年ぶりに結成されました。



総会では、結成の準備を進めてきたいつくしみの会河原常務よりあいさつと厚別区社保協結成の経過と説明があり、札幌社保協の齊藤浩司事務局長より「社保協の役割と地方政治」をテーマに記念講演をいただきました。参加団体からは活動紹介と社保協への期待などの声が寄せられました。

役員は、共同代表にいつくしみの会河原常務、厚別健康友の会村上仁会長、厚別区生活と健康を守る会、新日本婦人の会厚別支部の4者、事務局長にいつくしみの会工藤事務員を選出、事務局次長には勤医協もみじ台内科診療所、不登校の子を持つ親の会世話人の門前真理子氏を選出しました。

運営団体は、勤医協もみじ台内科診療所、勤医協もみじ台歯科診療所、勤医協厚別社員支部、厚別区革新懇、年金者組合厚別支部、札幌東部民商が運営委員と決定しました。今後、労働組合や障害者団体をはじめとする民主団体等にも加盟を要請しながらともに活動を進めていきます。

厚別区は、もみじ台地域や青葉町地域など市内でも1.2を争う高齢化率により、一部の地域はすでに限界集落化しているなど厚別区では高齢者に関する問題が大きな課題の一つとなっています。必要な介護保険の支援が行き届いておらずサービスを利用できていない人や、経済的理由から利用を制限している人も多くいるほか、受診や買い物などの外出の支援、除雪の問題など、高齢化特有の課題が多くあるほか、年金生活者や生活保護受給者、障害者など困難な人々が声を上げられずに生活しています。厚別区に暮らす住民の声を届け改善し安心して住み続けられる厚別区をめざしていくために区長交渉なども進めていきたいと考えています。また、他区の社保協とも連携するほか、札幌社保協や北海道社保協にも結集し、住民の生活要求に基づいた草の根の運動を進めていきます。

『社保協の役割と地方政治』

札幌社保協齊藤事務局長より記念講演

結成総会では、札幌社保協の齊藤浩司事務局長より「社保協の役割と地方政治」をテーマに記念講演をいただきました。

国保料引き下げの直接請求運動をはじめとする国保行政へのたたかひの歴史、敬老パスを守る運動や介護保険改善の運動など地域住民からも大きな賛同を得ながら、マスコミにも注目された活動の紹介などの経験が話されました。国の社会保障への攻撃が続いている中で、地方・自治体での住民との共同の運動が社保協の活動においても重要であるとお話をいただきました。参加者も社保協の役割や地方政治の重要性などについて大いに学習となり、厚別社保協の運動への励みになりました。

